

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)											
アレンジ 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	永田範正			実務 経験	有	職種	アレンジャー、BGM制作				
授業概要											
DAWでの音楽制作が当たり前となった今、サウンドクリエイターには幅広い知識、スキルが求められます。各楽器の知識、多様なジャンルのアレンジ構造を学び、様々なオーダーに対応できるアレンジメントのスキルを身につけます。グレード対応授業となります。											
到達目標											
バンドサウンドの編曲、デジタルサウンドの編曲、DAWの範疇でのオーケストレーションを用いた編曲ができる。											
授業方法											
一人一台DAW(cubase)を使用し、講義内容を確認しながら進行する。適宜配布されるMIDIデータ等を参考にし、アレンジ作業、音色選択とエディットを行う。定期的に課題提出とそれに対するアドバイスをし、理解度を確認する。											
成績評価方法											
提出物60% (知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内小テスト20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業態度20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
ヘッドホン（イヤホン）、変換アダプター、USB等メモリーを持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント、配布データ											
回数	授業計画										
第 1 回	オーディオI/Oや入力経路の知識、録音に至るまでのプロセスについての講義。 (グレード16対応内容)										
第 2 回	オーディオI/Oや入力経路の知識、録音に至るまでのプロセスの知識を活用し、ギター、ベース、歌の録音ができる。(グレード16対応内容)										
第 3 回	ピッチ編集についての講義。実習として歌素材のピッチ編集ができる。(グレード17対応内容)										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)	
アレンジ4	
第4回	オーケストレーションについての講義。配布データの内容を分析、理解できる。
第5回	オーケストレーションを用いたアレンジの骨組みができる。
第6回	オーケストレーションを用いた高度なアレンジができる。
第7回	第6回までの内容の理解度チェック小テストと解説。
第8回	近年における多様な音楽ジャンルについての講義。ジャンルをひとつ選び、その特徴の分析ができる。
第9回	ジャンルの違いを理解し、その特徴を活かした楽曲（BGM）を作成できる。（グレード18対応内容）
第10回	ジャンルの特徴をいかしたBGMの提出。
第11回	歌もののブラスアレンジについての講義。それらを活用して基礎的なアレンジができる。
第12回	歌もののブラスアレンジを高いクオリティでできる。
第13回	実際の制作現場の仕組み、流れ、やりとりするデータについて講義。
第14回	講師が指定した形式でステムやパラデータを作成し、提出することができる。（グレード19対応内容）
第15回	後期内容の理解度チェック小テストと解説。